

<試験官に関して>

試験官は以下2名でした。

外国人試験官 (NS) : 男性。40代~50代。鋭いまなざし。愛想はない。アメリカ英語で聞きやすい。

通訳ガイド (TG) : 女性。40代~50代か? 終始にこやか。

<面接試験の実際>

NS	What's your name?
I	My name is ...
NS	Where do you live?
I	I live in ...
NS	Now, I'm going to ask you some questions. Are you ready?
I	Yes, please. (with big smile)
NS	Why are there so many cram schools or yobi-ko in Japan? (質問が長く、もっと違う展開になるのかと思ったが、趣旨は理解)
I	親が良い大学→良い会社に就かせたいと思っており、少子化になった今日、「良い大学」が生き残りをかけているため、cram school や prep school もなって生徒集めをしている中、学校の授業だけでは受験戦争に打ち勝てないと思う親や子供が、cram school や prep school を選んでいる
NS	Children want to go?
I	Well, some children are forced to go.
NS	Please tell me the cheapest way to travel around in japan?
I	All right. Maybe travel around a week?
NS	Well, all right. One week.
I	JR rail pass を説明
NS	No exceptions?
I	「のぞみ」は適用外と説明
NS	Please tell me about Showa.
I	All right.
NS	But in Showa's specific period of 1945-1989.
I	I see. 無条件降伏、終戦、米軍による占領、民主化・復興、朝鮮戦争による特需もあり、高度経済成長→最後は、皆に敬愛されていた昭和天皇が崩御された、としんみり話す
NS	OK. Next... Let's talk about something happy thing! (とジェスチャー)
I	Oh, that's good idea!
NS	Why Japanese people love the Olympic game?
I	ひとつになれる、高揚感、などを述べる

NS	I see.
TG	(日本語で) あなたはどのような通訳ガイドになりたいですか？
I	正確な内容を最新の情報で通訳したいと思っております。そしてお客様が何を求めているか、何を求めているかを常に意識して、それぞれのお客様に合わせたガイドを心がけたいです。
TG	はい、ありがとうございます。これで終わりです。

<反省点、今後の課題、後輩へのアドバイス等>

スムーズに運べたと思います。全く緊張はしませんでした。直後は終えた安心感に包まれました。しかし時間がたつにつれ、自分の話した内容が少し稚拙だったのではないかとあの情報やこんなことも説明すればよかったと、後から後から浮かんできます。

質問は答える側の自由裁量によるものが多く、その人の持っている知識、見識、主観を、その人がどのような雰囲気や空気感を演出するかといったバランスの必要性を感じました。当然、よい雰囲気、心地よい話し方と内容が、相手にとってベストであることがマストですね。持って生まれたものもありますが、自覚することや **practice** で **improve** できる試験に有効なスキルだと思います。